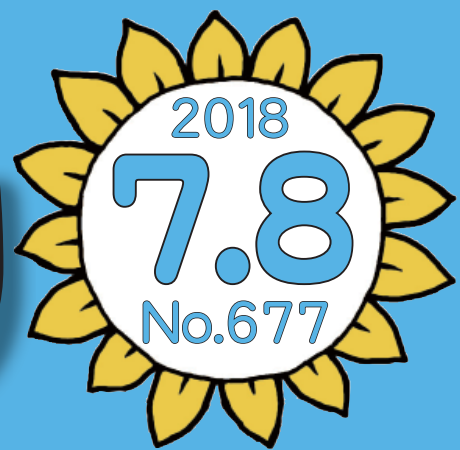


広報

みんなでつくる、未来へつなぐ。
あふれる笑顔、びらとり。

びらとり



今月の内容

特集 トマトの里構想 策定中・・・2～3 町民のよこがお・・・4



(平取高等学校学校祭 7月7日)

トマトの里構想 策定中！



今年より稼働の選果場



全道一のトマト

私たちの町「平取町」は全道一のトマト生産地として、昨年は、びらとり農協のびらとりトマト販売高は43億円を超え過去最高の額となりました。

また、「ニシパの恋人」というブランドは全国的なネーミングとなっています。トマトの産地なのに「トマトを感じられない」と訪れた人から聞くことがあります。平成19年に役場内で「トマトの

里づくりプロジェクト」で「トマトジャム」や「トマトレシピー」などを開発しましたが、今まで「トマトの町」として旗を上げたことがありませんでした。



トマトの里構想

本年度、「全道一のトマトの産地」として「トマトによるまちづくり」で43億円の経済波及効果を最大限に活用して知名度向上を図ることを目的に「トマトの里構想」を作成することになりました。

ありたい姿



現在「素案」が出来ていますが、この構想は「トマトの里びらとり」として【ありたい姿】に多くの人の思いを書き込みたいと考えています。トマトの里として住んでみたい町や遊びに来たい町。食べてみたいトマト料理。トマトだけではなく、びらとり和牛や黒豚など特産品を活用したまちづくりを構想として書き込みたいと考えています。

あつたら いいな

「買うところ」



この構想は、将来、町や団体（農協）・企業、町民（農家）がいて、直売店や売り方の提案。「食べるところ」として、新しいメニューや商品開発。「見るところ」として、トマトの種類や歴史。「つくる・ふれるところ」として、体験農場。そのほか応援する方法や、食べたり体験できるトマトパークなどなど。なんでも募集中です。

資料は

素案の内容や提案方法などは役場ホームページや役場産業課窓口・両支所及町内JAびらとり本所・支所に資料をおいてあります。

トマトの里構想 説明会

トマトの里構想について、素案の説明と町民の皆さんの意見を伺う会を開催します。多数の皆さんのご参加をお願いします。

『びらとりん2018 「トマトの里構想」』

9月3日① 19:00～20:30
振内町民センター
9月4日② 19:00～20:30
貫気別生活館
9月5日③ 19:00～20:30
中央公民館

『出前講座』

できるだけ5人以上の団体で応募願います。時間は相談に応じます。各団体の会議冒頭または終了後でもかまいません。



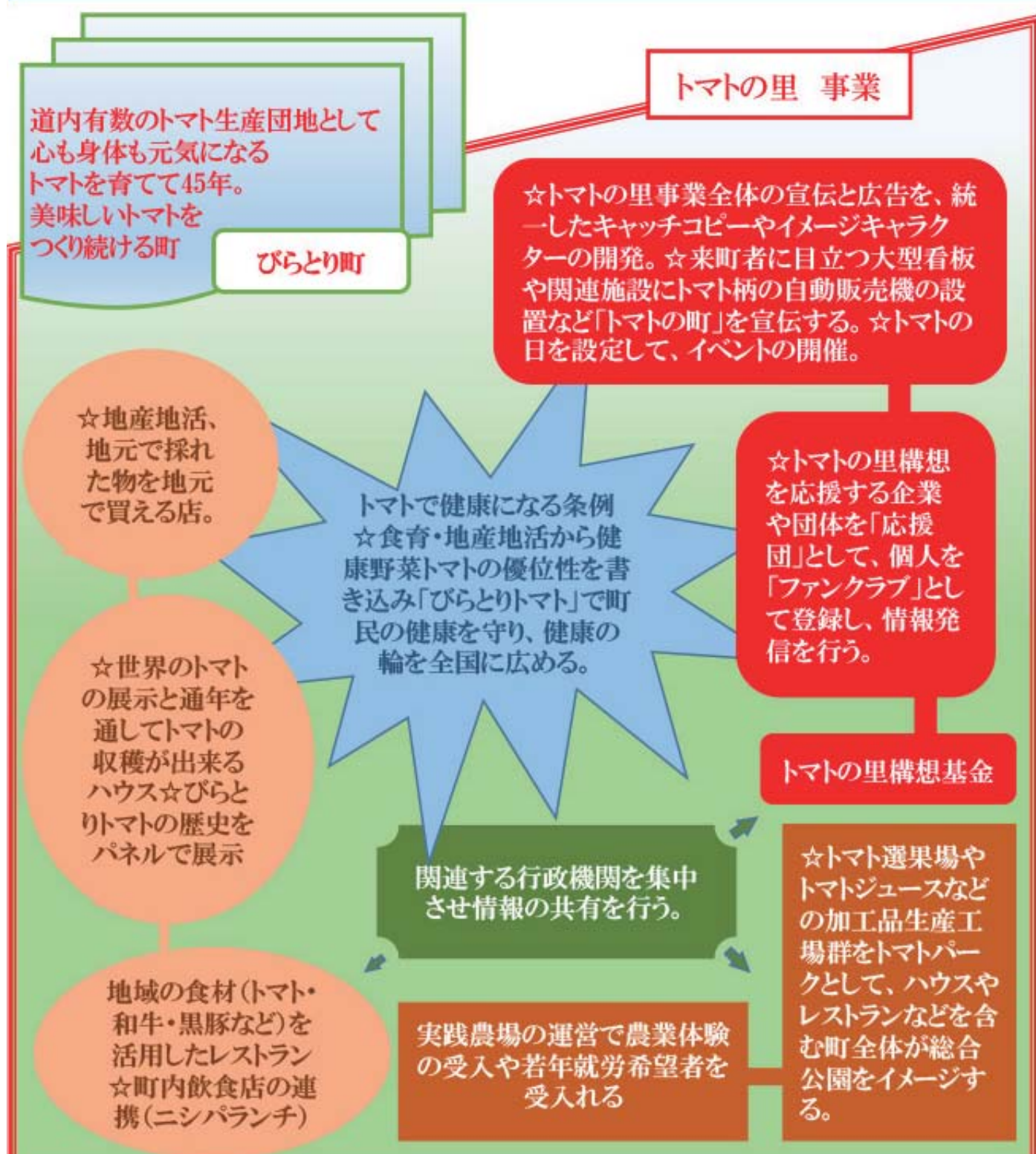
トマトの里構想のスケジュール

- ① 10月31日まで説明会、意見募集を行います。
- ② 11月に「素案」を「案」に決定して「まちづくり講演会」で発表します。
- ③ 「案」に対するご意見を1月31日まで募集します。
- ④ 2月に構想を決定して、シンポジウムを開催し発表します。

トマトの里 構想(素案)

昭和47年に6戸の農家でスタートした「びらとりトマト」は、45年後の平成29年には、163戸の農家で作付面積115ha 年間収穫量 12,555t 43億6300万円の販売高になりました。

現在、農家の高齢化・担い手不足により、生産農家が微減し、産地は生産拡大の時期から生産維持の時代に入りました。減少する農家を、後継者対策や新規就農者の受入などで、生産量を確保し、日本全国に健康の源「トマト」の安定供給を目指すとともに、町に暮らす人々が健康で元気になることを目標に「トマトの里構想」を提案します。





町民のよこがお ～貝澤 徹 氏～

木彫りを始めて42年。先人から引き継いだ伝統を大切に、アイヌ技法を必ず入れ自分らしさのメッセージを表現する作品を創作。

海外有名博物館・美術館に展示されている作品などについてインタビューしました。



貝澤徹さん(59)は、1958年二風谷に生まれ、高校を卒業後、家業の木彫りを始め42年になります。

数百年以上続いているアイヌ伝統技法を大切に作品を作り続けています。

当初は、観光土産を量産しましたが、現在は多彩な木彫りで観光客に対応しています。

その後、博物館などに先人のものは展示されるが、現代のものは展示されない事に、物づくりにする者としておかしいと感じ、自分の思いやメッセージをこめた作品を作り始めました。

最初に、「樹布」のお盆を作成

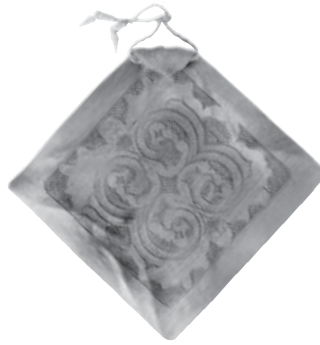
木彫りのお盆は、お茶などを出すと、それで片付けられるが、布の表現で制作したお盆は、インターネットの一部になる作品となりました。布のような柔らかさを感じることが出来ます。

さらに、昆虫や世代の継承の表現などの多くの作品を創作。写実性を大切に！



ウコウク
(家族の手)

海外の美術館などに納めた作品
2006年英国スコットランド
王立博物館「樹布イタ」



↑アイヌの伝統だけに止まらない
新しさ、面白さ、アートの表現

2013年カナダ国立美術館
「アイディンティティーII」



2018年大英博物館
「ケウトウム・カンナスイ」
「精神再び」



↑アイヌ民族の守り神フクロウが 卵から
ふ化する一瞬で、「再生」を表す

→あなたは、どういふ生き方をしますか
との問いかけがあります

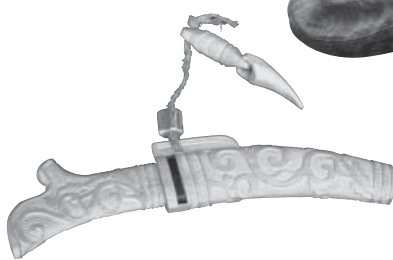
ハンクチョツチャ (トンボ)



ハンチング
(裏返すとニマ)



メッセージ性を含ませたアートの表現。それをどのよう受けとめるか。海外の方々が、注目してくれるのも嬉しいですね。新しい創造の部分の評価もしてほしいです。



マキリ (小刀)
ゴールデンカムイ (野田サトル著) の
モデルにもなりました。

奥さんのみどりさんと共に経営する、北の工房つとむには、多くの来客があります。作成した際の思いを、ていねいに二人で紹介すると、「人を信じる気持ちが生まれた」と安心した笑顔がお客さんからこぼれます。今は、2.4mの大きなシマフクロウ像を作成しています。



高齢者叙勲伝達式 (6/15)

消防団副分団長などを歴任し、退職された平成2年3月までの約40年の長きにわたって消防団活動に尽力された細川義和さん(88歳)が、このほど高齢者叙勲の瑞宝単光章を受章し、役場で叙勲の伝達式が行われました。

伝達式では、川上町長が伝達の口上を述べ、細川さんに勲記と勲章を手渡しました。



平取消消防団技能訓練大会(7/1)

中央公民館で平取消消防団技能訓練大会を開催しました。今大会は、親水公園において小隊訓練と実際の建物火災を想定した出動放水訓練を実施する予定でしたが、雨天のため本来予定していた訓練の内容を一部変更し、指揮者の号令により部隊を統制する小隊訓練を実施しました。

平取町外2町衛生施設組合からのお知らせ

ごみ直接搬入の規制を延長します。

焼却施設の煙突改良工事における追加工事の発生により、焼却停止期間を延長します。直接搬入の受付規制も次のとおり延長しますので、ご理解とご協力をお願いします。

**(変更前) 8月4日まで→(変更後) 平成31年1月31日まで
8:40～11:30までの受付になります。**

指定袋の“容量”や“重量”を守りましょう！

容量の超過



重量の超過



空きびんは1袋10kg以内にして、袋の縛り口と持ち手を縛った状態で出してください。

(分別大事典に記載しています)

袋が破けたり、びんが散乱するなど、収集時に危険があるため、容量や重量が守られていないものは回収できません。ご協力願います。

平取高校 フードデザイン学習 (6/20)

フードデザイン科目を選択している生徒8人が、紫雲古津の香田農園でトマトについて学びました。収穫、定植、成長に合わせての苗の手入りを体験。また、消費者が一番美味しく食べられるために、いつ収穫するか、どれくらい移動時間がかかるかなど、数多くのことを知ることができました。生徒からは「貴重なトマトです。教えてくれてありがとう」の言葉がありました。



門別警察署より詐欺防止に感謝状 (6/27)

門別警察署では、町内住民の特殊詐欺被害を未然に防止した、平取郵便局の山田敏明局長と吉田高之さんに感謝状を贈呈。住民の方が、高額の高額金が当選となった手数料を振り込む際に、不審に思い引き止めました。その際、郵便局から門別警察署に緊急通報しました。被害にあわないために、金融機関に相談したり、警察に相談することをお勧めします。

平取町観光協会に地域連携 DMO 職員が着任

むかわ町・日高町・平取町の3町でつくる鶴川・沙流川 WAKUWAKU 協議会が進める観光地域づくりを推進する「地域連携 DMO」を観光協会が担うことが決まり、新井貞則さん（紫雲古津）が専任職員として着任しました。3町の特色を生かした観光情報の発信やガイドの育成、特産品販売などを通じて地域の活性化を目指します。お気軽にお声かけください。



養護学校へ応援大使ノート贈呈 (7/2)

北海道日本ハムファイターズ応援大使、中田翔選手、井口和朋選手がデザインされ、さらにビラッキーも入った記念ノートを、養護学校児童・生徒77人に、川上町長より贈呈しました。

生徒は、ユニホーム着用で迎えてくれ、「うれしい。これからも、日本ハムファイターズを応援します。」と喜んでくれました。※町内の、小・中・高の学校にも配布

モンキーリバーランド夏まつり (7/8)

第32回モンキーリバーランド夏まつりが、晴天のもと開催され、約200人の来場者がありました。

やまべのつかみ取りでは、年齢ごとに分かれてチャレンジしましたが、なかなかつかむことはできず大変でした。終了後から揚げをしたやまべに、子どもたちは大喜びでした。他のゲームや模擬店でも大人も子どもも楽しめました。



貫気別ファミリーフェスティバル (6/25)

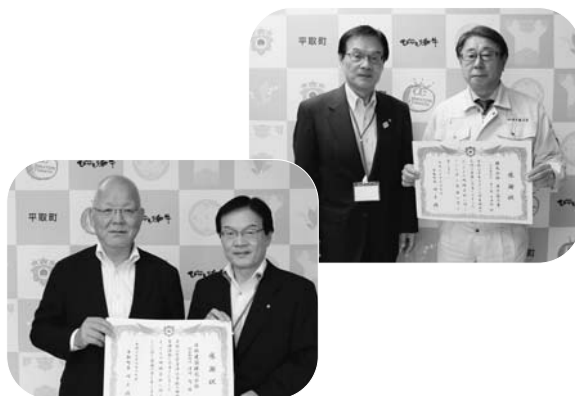
第31回貫気別ファミリーフェスティバルが開催。ウォークラリーの後に、多くの方が人気の「ソーメン流し」を楽しく美味しくいただきました。次に待つ焼肉も最高でした。「ここ来ると、みんなの顔が見れてうれしい」の元気な感想がありました。最後のビンゴ大会では、多くの賞品の前で何が当たるかワクワクした笑顔でいっぱいでした。

感謝状贈呈 (6/25・7/17)

(株)五十嵐工業 ((代)五十嵐千津雄氏) では、保全のため、芽生群生地内の雑草など高狩りをしてくださいました。

また、日新建設(株) ((代)津川 司氏) では、紫雲古津小学校の駐輪場の支柱塗装、校門入口の道路補修、砂場木枠の補修と整備をしてくださいました。

地域に貢献していただき感謝しています。



社会を明るくする運動推進事業 (7/17)

町民税1%まちづくり事業で社会を明るくする運動推進委員会主催により、貫気別小学校を会場として事業が行われました。はじめに薬物乱用防止DVDの上映があり、つぎに帯広市出身の落語家の桂三段氏による独演会が催されました。参加した大人も子どもも、落語やどじょう掬い踊りの楽しさに引き込まれていました。



教育委員会からのお知らせ

確認と驚き！

小学校4年生社会科町内見学

7月4日、町内の五つの小学校が合同で4年生の社会科町内見学学習を実施しました。学習のねらいは、「子どもたちの社会的視野を広げるため、町内の産業や公共施設の見学・体験活動を通して、働く人の姿を見つめ、施設の機能や役割を理解し、地域との関わりを学習する。」というものです。



ふれあいセンターびらとり

3年生の時は、トマト農家、トマト選果場、木工場の産業学習を実施しています。4年生では3ヶ所の公共施設で、午前中に平取町外2町衛生施設組合、ふれあいセンターびらとりを見学、午後は日高西部消防組合平取消防署を見学しました。

事前の学習を基に、真剣な眼差しで見学し、確認や驚きの連続で、質問したりメモを取るなど集中して取り組んでいました。



平取町外2町衛生施設組合



日高西部消防組合平取消防署



夏休みも残り2週間、生活を見直し、二学期へ！

夏休みも残すところ2週間あまり、規則正しい生活で充実した毎日を送っていますか？

学習課題などは順調にやり遂げていますか？目を輝かせて二学期を迎えられるように、次の3点を確認し、体調や生活習慣を立て直すよう心がけていきましょう。

- ①「自ら取り組む規則正しい生活」
- ②「人や自然・地域と関わる活動」
- ③「安全第一」

(子) 行き先を告げていますか
(保護者) 行き先を確認していますか
一日の生活を振り返ったコミュニケーションは取れていますか



学校閉庁日のお知らせ

教育委員会では、教職員の多忙化による長時間勤務の解消等を図る観点から、「学校における働き方改革『北海道アクション・プラン』」に準じた取組として、次のとおり学校閉庁日を全校統一で設けることとしましたので、お知らせします。

◇学校閉庁日

- (1) 8月13日(月)～8月15日(水)
- (2) 12月29日(土)～1月3日(木)

※この期間は、学校としての業務を行わない日であるため、部活動など生徒の活動も行わない日となります。

夏の味覚「イチゴの収穫体験」～キッズチャレンジ THE あぐり～

食物が生産され食卓へ上るまでの過程や労力を実感してもらい、食育を推進する事などを目的に、農作業体験などを行うキッズチャレンジ THE あぐりに、今年度も40人の申込みがありました。稲作を中心に、野菜の収穫や調理体験なども行いながら、年4回実施します。

第2回目はイチゴの収穫体験。連日の雨模様のため心配していましたが、朝から降っていた雨は、事業開始前には霧雨となり、何とか濡れる事なく、平賀のイチゴ農家さんのハウスを会場に、7月1日に実施することができました。

開会式を行い、子どもたちが待ちに待ったイチゴの収穫体験がスタート。ハウスの中には1m程度の高さに設置されたプランターがあり、3～4cm程度の真っ赤に熟した美味しそ



うなイチゴがたくさん。子どもたちは目の前にぶら下がっているイチゴを次々と口に頬張り、「あま〜い！おいしい〜！みてみて大きいよお〜！」とイチゴの収穫体験を満喫していました。楽しい思い出の1コマになりました。



500年の伝統『淡路人形浄瑠璃』公演 ～町民芸術劇場～

7月7日に、国指定重要無形民俗文化財『淡路人形浄瑠璃』公演を開催しました。

午前小学生を対象に、「戎舞」と「鬼一法眼三略の巻 五条橋の段」を公演し、五条橋の段では中央公民館に展示している「牛若丸」と「弁慶」の人形浄瑠璃が躍動感のある立ち回りを演じました。演目の合間には「人形解説」として、実際に人形浄瑠璃を動かす体験を行い、慣れない操作によるコミカルな動きに、会場は笑いの渦に包まれていました。

同日、夜には一般の方を対象に、「戎舞」と「傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段」を公演し、「戎舞」では庄屋の家でふるまい酒を飲む場面で、平取産米日本酒「カムイ義経」を披露されました。

『ととさんの名は十郎兵衛、かかさんはお弓と申します…』という巡礼の娘お鶴のセリフがよく知られている「傾城阿波の鳴門」では、盗賊の一味となっているために親と名乗れず、我が子を追いつ返す場面に、来場した約240人は、まるで生きているかのような人形浄瑠璃の細かな仕草に引き込まれていました。



教育委員会からのお知らせ

第 19 回 平取町小学生陸上競技大会 ～ 2 種目で新記録達成！！～

6 月 24 日、平取中学校グラウンドで陸上競技大会が開催されました。参加者は昨年より 40 人ほど少なく 102 人（町内児童の約 40％）が参加しました。

今大会は開会直前まで降っていた雨が上がり、気温もそれほど高くなく、競技に適した環境の中で実施することができました。選手たちは、たくさんの声援を浴びながら、真剣な表情で元気いっぱい競技を行っていました。

熱戦が繰り広げられる中、2 年生男子 60 m 走で貫気別小学校、鈴木匠吾さんが歴代記録を 0.34 秒更新、三種競技で二風谷小学校、木村 結さんが歴代記録を 15 点更新し、大会新記録を樹立しました！！

鈴木さんは昨年 1 年男子 60 m 走に続き、2 大会連続大会新記録樹立となりました。



トラック種目	氏 名	小学校名	記 録
60 m 1 年男子	加藤 蒼大	振 内	12 秒 12
2 年男子	鈴木 匠吾	貫気別	10 秒 31
女子	仲山 颯羽	平 取	11 秒 62
100 m 3 年男子	平村 南斗	平 取	16 秒 58
女子	橘 風花	紫雲古津	19 秒 36
4 年男子	露木 慶治	二風谷	17 秒 67
女子	富田 凜	振 内	17 秒 52
5 年男子	丸山 透和	貫気別	16 秒 30
女子	栗津 結葵	紫雲古津	16 秒 31
6 年男子	神田森太郎	平 取	15 秒 84
女子	島野 未替	平 取	15 秒 68
800 m 共通男子	神田森太郎	平 取	2 分 49 秒 59
女子	木村 結	二風谷	3 分 09 秒 89
4×50 m リレー 男女共通 (1・2 年)	加藤 蒼大 橋尾 優作 高橋 双葉 鈴木 匠吾	貫気別 振 内 (混合)	40 秒 75
4×100 m リレー 共通男子 (3 年以上)	金谷 匠真 橘 悠仁 杉本 龍牙 神田森太郎	平 取 紫雲古津 (混合)	1 分 05 秒 46
4×100 m リレー 共通女子 (3 年以上)	矢作 凜 吉田 知華 吉田 悠華 島野 未替	平 取	1 分 05 秒 62

フィールド種目	氏 名	小学校名	記 録
走り幅跳び 共通男子	丸山 透和	貫気別	3.46 m
共通女子	吉田 知華	平 取	3.20 m
ソフトボール投げ共通男子	進藤 優気	平 取	39.87 m
共通女子	吉田 悠華	平 取	35.67 m

三種競技	氏 名	小学校名	記 録
共通男子	橘 悠仁	紫雲古津	996 点
共通女子	木村 結	二風谷	867 点



博物館コラム「チプサンケ（舟・おろす）：舟おろしのお祭り」

チプサンケが始められたきっかけ

今日の北海道内陸部において、舟の生活利用が途絶えてきています。近・現代の社会基盤整備の中で道路や橋、鉄道網が敷かれ、日々の生活の中で自動車や列車が用いられるようになったことが背景にあります。

そうした今日の状況の一方で、定期的にチプへ乗る機会を作り、造舟、操作技術とともに川舟の文化を伝承するためのお祭りが、昭和 40 年代以降継続的に二風谷で行われています。

チプを用いた暮らし

アイヌの伝統的な暮らしにおいて、チプは生活に密着した道具として重宝されていました。沙流川においても、河口域から数キロおきに点在するコタン（集落）の舟着き場には数そうのチプがつないでありました。

現代的な橋がしっかり作られる以前は、渡舟が重要な交通手段でもありました。明治 29 年に発行された沙流川流域の地図をみると、陸路の道がたびたび本流を横断しています。これらの場所には、地域住民の交通網を支えるための渡舟場が設置されていました。

チプを用いた漁労もアイヌの暮らしの中に数多く伝えられています。ヤシヤ（すくい網）やマレブ（自在もり）を用いた漁獲は熟練したチプの操作が必要です。

チプを日常的に用いない現在の暮らしにおいて、こうした無形の技を守り伝えていくことは、地域のアイヌ文化継承にとって大きな課題となっています。近年はチプサンケのほか、アシリチェブノミ（新しいサケを迎え入れる儀式）でのチプ利用も定期的に行われるようになりました。

今日のチプサンケについて

近年のチプサンケは、ユカラと語り部、ウトムヌカラ（結婚式）、盆踊り、縁結びの石祭り、アイヌ文様の彫刻体験等が組み合わされ、2 日間にわたって行われます。地域振興のお祭りを通じた賑わいの中に、アイヌの伝統をつないでいく意義が多分に含まれています。

平取町では一年を通して様々なアイヌ文化継承の催しが行われています。その中でもシシリムカアイヌ文化祭（2 月）とチプサンケ（8 月）は、規模の大きいお祭りとして数十年間継続開催され、地域に定着しています。

なお、今年のチプサンケは 8/18～19（土～日）に前夜祭・本祭が行われます。沙流川のアイヌ文化を受け継ぐための厳かな儀式と、楽しみながらの乗舟をみんなで盛り上げていきます。たくさんのご来場をお待ちしています。

（長田佳宏）



昨年行われたチプサンケの様子（平成 29 年 8 月 20 日）

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

介護支援
ボランティアポイント

事業で

地域とのつながりを!

全国的に、一人暮らしや高齢者のみの世帯が増加しておりますが、平取町も例外ではありません。

また、高齢化率は34%で約3人に1人が65歳以上です。そのため、町は社会福祉協議会と協力し、高齢者の社会参加や新たな担い手の確保のため、地域貢献をとおして健康増進や介護予防の推進を図るため、介護施設や地域の交流サロンでのボランティア活動に対して評価ポイントを付与し、そのポイントによりトマト商品券を交付する制度を開始しました。

4月21日、25日、6月28日にふれあいセンターで介護支援ボランティアポイント事業養成研修が行われ、66人が受講しました。5月からの介護施設をはじめとした福祉施設や各地域の交流サロンへ介護支援ボランティアが出向き活躍されていますので、養成研修会の様子やボランティア活動を紹介します。



介護支援ボランティア事業養成研修の様子



※ボランティアポイントは1ポイント100円、年間上限50ポイント(5千円) 500円からトマト商品券と交換できます。



介護支援ボランティア活動の様子



【お問い合わせ先】
保健福祉課 介護支援係
ふれあいセンター611号内
☎ 4-6114
介護に関する質問や
ご相談お待ちしております!

図書館へいこう

○開館時間 火～金曜日 9:30 ～ 18:00

土・日曜日 9:30 ～ 17:00

○休館日 月曜日・祝日

※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



新着図書

【小説・エッセイ】

『本性』／伊岡瞬

『星夜航行』上・下／飯嶋和一

『空飛ぶタイヤ』／池井戸潤

『葵の残葉』／奥山景布子

『火影に咲く』／木内昇

『雨降る森の犬』／馳星周

『もう「はい」としか言えない』

／松尾スズキ

『神さまたちの遊ぶ庭』

／宮下奈都

『しない。』／群ようこ

【料理・趣味】

『こや豆腐＆粉豆腐幸せレシピ』／前本勝利

『卵やせ』／今野裕之

『冷凍フルーツのひんやりスイーツ』／あまこようこ

『麻ひもバッグ 基本の「き」＋デザインいろいろ』

／青木恵理子

【医学・社会・その他】

『その症状、すぐ病院に行くべき？行く必要なし？』

／山中克郎

『国立がん研究センターの乳がんの本』／木下貴之

『マンガでやさしくわかるパパの子育て』／小崎恭弘

『新聞記者』／望月衣塑子

【児童書・よみもの】

『きみ江さん ハンセン病を生きて』／片野田斉

『ぼくらのウソテレビ』

／ねじめ正一

『いい人ランキング』

／吉野万理子

【絵本】

『たんぼレストラン』

／はやしますみ

『ねこってこんなふう？』

／ブレンダン・ウェンツェル

『おしっこちょっぴりもれたろう』／ヨシタケシンスケ

図書ワゴン（移動図書館車）運行日程

9月6日（木）

【振内地区】 10:00～11:00 山の駅ほろしり館

【貫気別地区】 11:30～12:30 貫気別生活館

【二風谷地区】 13:45～14:15 二風谷生活館

【紫雲古津地区】 14:45～15:15 紫雲古津生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■利用者カードが無くても貸出できます。



図書館カレンダー

8月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

は休館日です

おすすめ紹介



『育てる力 栗山英樹
「論語と算盤」の教え』
／栗山英樹

（宝島社）

「1冊の本が、まるで家族や旧友のように寄り添ってくれることなど、この本に出会わなければ知ることがなかった。」栗山監督は、40歳を過ぎて『論語と算盤』という本を読んだ感動をこのように述べています。

「座右の書」が持つ力の大きさが伝わる一冊です。

【スポーツ】

【問合先】 平取町立図書館

TEL 01457-4-6666

FAX 01457-4-6871

メール risu2@guitar.ocn.ne.jp

今月のワンショット

ミニ動物園（小林組）7/18



まちの人口と世帯数

人 口	5,133 人	(0)
男	2,507 人	(2)
女	2,626 人	(2)
世帯数	2,595 世帯	(0)

() 内は前月比 6月末現在

交通事故発生状況

発生件数	0 人	(△ 3)
死 者 数	0 人	(0)
傷 者 数	0 人	(△ 3)

() 内は前年比 6月末現在

死亡事故ゼロ日数 349 日

楳の実吟社 俳句

胡瓜もみ酢の味ひかえ老の舌
 ルピナスの色とりどりや斜面燃ゆ
 アカシアの花の天ぷら美味と聞く
 アカシアの咲く頃病む身亡母ゆずり
 初夏の道花々咲いて盛り上がる
 薫風に五感ゆだねて仰向ける
 独り居と古茶の渋味に馴れて来し
 遠くにか近くにいるのかカッコウは
 雨粒に紫陽花は濃く映えかえる
 又ひとり名優の逝く花は葉に
 ぜんまいのの字ほどこいて鍋に入れ
 雪折れの枝にも咲きて赤つつじ
 ヨサコイやリラ冷えなんかなんのその
 タンポポ野絨毯踏みまし車椅子
 群れ咲くも一人静は独り立ち

石森 礼子
 井内 青風
 内海 綾子
 遠藤 紫光
 川上 八重子
 熊谷 厚子
 柴田 紫梢
 高橋 利江
 千葉 俊子
 長野 新一
 中道 サト
 道政 サツ子
 山崎 喜峰
 吉野 千佳女
 渡辺 正子

有料広告

